

防犯 最新線

第16話

浅田町みんなのでつくろう
安心安全なまちづくり



浅田町が誇る青色軽トラ

新学期が始まり気持ちを新たにパトロールに繰り出すメンバーら＝浅田区民会館で

青色軽トラが機動力

学校の新学期が始まった9月、浅田区民会館にベスト姿のメンバーらが続々と集まった。この日は青色防犯パトロール車の活動日。平日の朝だが34人も参加する一致団結の姿勢が浅田町のすごさかもしれない。

活動は主に児童の見守りで、毎朝、浅田・平子・上納の各交差点に立つ。昼夜の青パトや街頭監視など年間600回近い活動をこなす。中でも交通量が多い浅田交差点は重点場所。「黄色信号が変わっても自動車が入り込んで来ると危ない。歩道らしい道も狭いので立つ場所にも苦慮している」と話す。

同会は地域の交通安全啓発のため2007年6月に設立した。2年後青パト活動も開始し、防犯、交通安全の一体的な活動を展開している。メンバーは10年間で倍以上の83人に増えた。最大の機動力は青色回転灯を搭載した7台の軽トラだ。高井正勝会長(75)は「日中移動するときも青色灯を回している。狭い道でも隅々まで走れるので防犯に効果的だ」と誇る。

浅田町は国道と県道が交差する交通の要所として発展し、工場や商業施設が多い。閑静な住宅街も広がり、約3千世帯7千人を超す住民が暮らす。夜の安全対策として、每晚町内13カ所で赤色灯が点灯して注意喚起を促す。そうした地道な取り組みが功を奏してか、犯罪件数は年々減少している。

防犯活動が盛んになる一方、同会の有志らは5年前、「天白川クリーン隊」を結成して河川堤防の草刈りなど清掃活動を続けている。浅井雅治さん(72)は「川がごみで汚されるのは気になる。子どもたちが自由に川遊びを楽しめる環境が大切だ」と、毎年地元の子に魚とりを体験させている。

地域では常に声掛け運動を徹底している。鈴木勇さん(69)、鈴木嘉教さん(70)は「浅田町のいい所は皆が気兼ねなく意見を言えること。婦人会も明るくていつだってはつらつとしている」と笑顔で語る。高井会長は願う。「地域の人の土の交流が深まるようになってうれしい。皆で見守りながら犯罪も事故もない安心安全な町にしたい」(広)



名古屋国道事務所を訪問

大型商業施設の買い物客などで交通量が増える国道153号豊田西バイパスの将来的な対策を目的に8月22日、日進市はみよし市、東郷町と共に要望活動をし

ました＝写真。
萩野市長、小野田みよし市長、川瀬東郷町長が、名古屋国道事務所ならびに名四国道事務所の両所長に書面を提出しました。

